

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 玉川大学

1. 事業の趣旨・目的

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
12/22	玉川大学	佐藤 久美子 中田 幸司 永井 悦子	企画（カリキュラム、講師、日程、会場）の検討	企画（テーマ、カリキュラム、講師、日程、会場）の検討と調整 スケジュール、広報活動等に関する確認
2/4	玉川大学	佐藤 久美子 渡辺 一雄 中田 幸司 永井 悦子	講座開講にあたって	講座運営に関する打ち合わせ
3/22	玉川大学	佐藤 久美子 渡辺 一雄 中田 幸司 永井 悦子	講座の終了に際して	本年度講座の成果及び課題、次年度の計画に関する話し合い

【写真】



3. 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 定住外国人親子に対する 日本語指導者養成講座
- (2) 開催場所 玉川大学
- (3) 養成講座の目標
現在地域の日本語教育現場の抱える問題を共有するとともに、地域の日本語教室で活用できる実践的な教授方法・クラス運営方法の向上をはかる。
- (4) 使用した教材・リソース
・教師陣によるオリジナルテキスト
・『日本語宝島』『新日本語 生活の漢字』
『外国人児童生徒のための支援ガイドブック』他
- (5) 受講者の募集方法
・玉川大学ホームページへの掲載
・近隣地域の日本語教室運営団体等への募集チラシの配布
- (6) 受講者の総数 20 人 (出身・国籍別内訳 日本人 19 人 韓国人 1 人)
- (7) 開催時間数(回数) 20 時間 (全 5 回)
- (8) 参加対象者の要件
・現在地域の日本語ボランティアとして活動されている方
・今後地域の日本語ボランティアとして活動を希望されている方
- (9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
1	2 月 4 日 12:50～14:20 14:30～17:00	4 時間	14 名	テーマ:日本語を教えるということ／日本語の教え方:基礎編	宮田 聖子
2	2 月 11 日 12:50～14:20 14:30～17:00	4 時間	17 名	テーマ:子どもの声を引き出す授業作り	尾関 史 山崎 尚子 横山 愛子
3	2 月 18 日 12:50～14:20 14:30～17:00	4 時間	16 名	テーマ:学校の授業と日本語学習を結びつけよう／外国につながる子どもたちの進学問題を考える	井草まさ子 関口真理恵 武 一美
4	2 月 25 日 12:50～14:20 14:30～17:00	4 時間	17 名	テーマ:学習者のニーズに合わせた漢字教材作り	永井 悦子
5	3 月 3 日 12:50～14:20 14:30～17:00	4 時間	18 名	テーマ:書きたい気持ちが生まれる作文教材作り	宮田 聖子

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・聞くだけでなく、実践的なワークショップが体験できて、たくさんの方が身についたと感じた。普段は、なかなかお会いできない先生方からの貴重なお話が聞けてとても有意義だった。これからも続けていきたい。
- ・各回ともに内容が良かった。特に実践的にグループワークを行ったことが良かった。
- ・たくさんの方の教材に接して、とても勉強になった。自分で教材を作るヒントをたくさんあった。
- ・このような講座があったらまたぜひ参加したいと考えている。(同意見まとめ)

②実施主体からの研修内容結果評価

本年度は、昨年度の受講生の声をふまえ、参加者が活動を行っている教室で活用できるような教材の作成に関するワークショップなど実践的な内容を中心に構成した。実践経験を豊富に持つ方を講師に招くこととなり日程調整に苦心し、年明けから開催することとなったが、アンケートからもうかがえるように、受講生の満足度にはつながったと思われる。企画内容と受講生のニーズがマッチしたと評価できる。

今回は、特に大学という場で開講するプログラムであることを意識し、さまざまなタイプの教材の提示や、実践例の紹介を意図して行った。受講生からも、専門的で新しい知識の提供に対して高い評価をいただいた。今後も大学が蓄積する種々のリソースを地域へ還元できるような企画の必要性を感じた。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・近隣地域にある NPO と共同の学習会(指導法や教材に関する情報交換)
- ・現在行っている近隣地域 NPO 等地域日本語支援団体の活動への本学学生の参加・交流活動の継続・発展

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

近隣地域の国際交流センター、留学生職業開発センター等 NPO 団体への学生ボランティア・講師等の派遣・企画運営案の提供

② 研修後の人材活用

所属する団体でのリーダー的存在、さらには他団体とのパイプ役として活動してくれるものとする。

(12) 今後の課題

昨年の成果や課題をふまえ、本年度は教材作成をメインに講座を構成した。今後も地域の支援現場のニーズをくみ取り、地域に益する企画を提供していく必要があると考える。